

# 県老連だより



発行 2019.3  
一般財団法人  
佐賀県老人クラブ連合会

会長 木下 治 紀

〒840-0804 佐賀県佐賀市神野東二丁目6番1号

(佐賀県在宅生活サポートセンター)

TEL (0952) 33-3520



## 第47回 全国老人クラブ大会

平成30年12月4日～5日の2日間、全国老人クラブ大会が、沖縄県宜野湾市において開催されました。

### ■1日目

「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマに、初日は活動交流部会・第1部会「私たちの地域を支え合おう」新地域支援事業への参画・第2部会「仲間を増やそう」会員増強運動の推進・第3部会「老人クラブ高齢消費者被害防止キャンペーン」をテーマに発表・質疑応答が行われました。

また・第4部会「演じる活動（舞台発表）」には唐津市老人クラブ連合会、唐津支部女性部が出演されました。発表は、唐津めぐりいたしました「唐津よいよい節」、歌って踊ろう「唐津エンヤー体操」を演じていただき、会場の皆様が一緒に「エンヤー、エンヤー」と声を掛けてくださいたり、体操をしていただきました。りと、会場全員で盛り上がりました。出演していただいた唐津支部女性部の皆様、長い間の練習から舞台発表まで大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

### ■2日目

全国からの参加者1,486名が一堂に会して、講演、式典が開催されました。佐賀県からは、木下治紀会長をはじめ表彰受賞者を含め39名が出席しました。出席者を代表され、全老連優良老人クラブ表彰を受けられた鳥栖市布津原町老人クラブ北村勲会長と、第4部会「演じる活動（舞台発表）」に出演された代表の中島順子女性部長から報告をいただきました。



参加者のみなさん

## 鳥栖市老人クラブ連合会

布津原町老人クラブ 会長 北村 勲

全国優良老人クラブ表彰をいただき大変光栄であり、感謝しております。クラブ会員（74名）を代表して、一言述べさせていただきます。

鳥栖市布津原町老人クラブは、昭和53年3月19日に誕生し、41年の歴史があります。諸先輩から受け継いできた良き伝統、伝承が今日の受賞につながったことに過言はありません。

4年前に児童たちと昔遊び、物づくりをするクラブを立ち上げ、布津原町老人クラブ「年輪工房」と名付けました。主な活動は、児童との物づくり、伝承活動です。町内の高齢者の中には、現役時代特技を持った方が多数おられ、その特技を地域活動に生かし、地域貢献に役立てればと団体が組織されました。クラブ会員にとっても、これまでの経験と特技が役立ち、生きがいを感じる事ができるため一挙両得です。

児童たちにもこの活動が伝承活動として継承されることは喜ばしいことだと思えます。児童とのふれあいは、年6回程度活動を行っています。

町、市、まちづくり、社協、小学校、PTA等と連携した活動を行い、お互いに尊重し合って、地域貢献、社会貢献に結び付

いていけばクラブの発展にもつながっていくものだと思います。

唐津市老連女性部長 中島 順子

平成最後となる全国老人クラブ大会が平成30年12月4日～5日の2日間、沖縄県にて開催されました。

「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマに、今後の老人クラブ活動の発展と高齢者福祉の向上を期して、4部会に分かれ参加いたしました。

初日は、県内各地区から参加された39名で「ひめゆりの塔・資料館」「琉球ガラス村」を見学しました。全国、世界中から献納された折り鶴を前に、今ある平和のありがたさ、そして、恒久の平和を願い、静かに手を合わせました。

大会1日目は、車窓から首里城を眺め、会場であるコンベンションセンターへ移動、第4部会「演じる活動」に出場する唐津市老連はリハーサルを行い、県老連の方々に激励と最終確認をしていただきました。平成30年2月に唐津市老連が全国大会出場に決定し、各クラブの女性部長に参加希望を募り、5月から練習に励みました。猛暑時期の練習では体調を崩されたり、やむなく出場を辞退されたメンバーもいましたが、



唐津市老連（演じる）のみなさん

『笑顔で頑張ろう！』と励まし合い、練習を重ねました。

本番では初めに女性部における日頃の活動を通しての仲間づくり、地域の広がり等の活動をスクリーン発表しました。

次は演じる活動「唐津よいよい節」「唐津エンヤー体操」を披露、体操中の「エンヤー！エンヤー！」の掛け声は会場を一体にさせ、盛大な拍手をいただきました。会場を盛り上げてくださった佐賀県役員の方々、会場の皆様に感謝を込め、深くお辞儀をして、全員笑顔で舞台を降りました。



木下会長と表彰者のみなさん

翌日は式典が執り行われ、県内からも各団体、個人が受賞され、同郷会員として大変嬉しく、誇らしく思いました。

最後に、このような大きな大会に木下会長をはじめ、県老連の方々の協力を得て参加できたことを全員感謝につきません。今後も全国大会での貴重な経験を生かし、老人クラブの発展に向けて頑張っていきます。ありがとうございました。

**(報告)**

式典では、全国老人クラブ連合会会長表彰が行われ、佐賀県からは次の方々が受賞されました。誠にありがとうございます。

**・老人クラブ育成成功労表彰**

佐賀県老人クラブ連合会副会長

久野 絹子氏

元嬉野市老人クラブ連合会会長

橋口 隆司氏

**・優良老人クラブ表彰**

鳥栖市布津原町老人クラブ

(北村勲会長)

武雄市鳥海シニアクラブ楽寿会

(武村工会長)

**・永年勤続表彰**

武雄市老人クラブ連合会事務局長

井上 妙子氏

佐賀市老人クラブ連合会事務局職員

長尾由紀子氏

**宣言**

平均寿命の延伸によって、人生百年時代の到来が予測されるようになりました。一方で増加する高齢者を支える社会保障制度の持続可能性が問われています。

このような社会情勢のなかで、老人クラブの健康づくりや友愛活動をはじめ、官民が一体で取り組んでいる新地域支援事業への参画は一層重要性を増しています。

特に見守り支援の友愛活動では、女性会員を中心に取り組んできた特殊詐欺被害の防止活動が、消費者庁はじめ関係各方面から高い評価をいただくまでになりました。

私たちはこれからも社会の一員として、子どもや障害者、高齢者が安心して暮らせる地域共生社会の実現をめざして活動の輪を広げてまいります。

沖縄県は、古来よりアジア諸国との交易によって国際豊かな独自の文化が育まれてきました。私たちはこの地で受け継がれてきた「ゆいまーる」(相互扶助)の精神に学び、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

- 一、老人クラブ「一〇〇万人会員増強運動」をすすめます
- 一、「友愛活動」の充実と「新地域支援事業」を支援します
- 一、高齢者の尊厳が守られる諸制度、地域共生社会の実現をめざします

平成三十年十二月五日

第四十七回 全国老人クラブ大会

# 友愛活動県内交流集会



全老連 齊藤常務理事



活動発表

平成30年11月21日(水)、友愛活動を実践されている会員113名が集い「友愛活動県内交流集会」が佐賀市の「グランデはがくれ」において開催されました。

まず、佐賀県長寿社会課、細山田氏から今年度の老人クラブPR事業の説明をしていただきました。

次に、全国老人クラブ連合会常務理事の齊藤秀樹氏に「老人クラブがめざす友愛活動」という演題で講演していただきました。老人クラブが取り組んでいる友愛活動は地域が連携していくうえでも重要であることを学ばさせていただきました。

午後の部は「いきいきクラブ体操」を女性委員の指導のもと、参加者全員で体操を行い、リラックスしたところで、活動事例発表に移りました。

みやき町老連副会長の平井ヤス子さん、佐賀市老連西与賀丸目老人クラブの高津万亀代さんのお二人による活動事例について発表していただき、それぞれ特色のある内容で大変参考になったと好評でした。

その後は、グループ討議の時間となり、「これまでの老人クラブの活動を新地域支援事業に活かそう」を主題として、話し合い・情報交換が行われました。10グループとも真剣かつ活発な討議が行われ、最後は各グループから討議の報告がなされ、充実した交流集会となりました。





講演：森田みやき町老連会長



平成30年11月27日（火）、県在宅生活サポートセンター「いきいき館」において、女性リーダーの資質向上を目指し県内の女性リーダー70名が参加し、研修会を開催しました。

木下県会長のあいさつの後、久野県女性委員長から全老連女性リーダーセミナーの報告がありました。

事例発表では、鳥栖市老連・下田節子副会長から「女性部の活動」について、また、吉野ヶ里町老連・中島登美子副会長から「九州ブロックリーダー研修会」に参加しての発表をしていただきました。

講演は、みやき町老連・森田英徳会長の「女性リーダーのみなさんに期待すること」の演題で、老人クラブの始まりから活動の目的・役割、女性の特徴などを含め、リーダーとしての心構えを話していただき、大変参考になりました。

配布資料の「単位老人クラ

ブ活動の手引き」はリーダーのみなさんにとって必要なことが記載されていますので、ぜひ単位クラブの会長さんもお覧になっていただき、活動の活性化を図っていただきたいと思えます。

午後は、いきいきクラブ体操で体を動かした後、「健康づくりの推進」「会員増強の取り組み」「自然災害への対応」と各グループ別に決められたテーマに沿って意見交換や討議を行いました。

また、手作りの品の交換や会員作の素晴らしい小物品の展示も行いました。



# 平成31年度 収支予算書 (正味財産増減ベースを簡略)

平成31年4月1日から平成32年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額
I 正味財産増減の部	
1 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産、特定資産運用益	2,000
分担金	7,722,000
事業収益	2,710,000
受取補助金等	8,844,000
受取負担金振替額	0
受取寄付金	1,800,000
雑収益	66,000
経常収益計	21,144,000
(2) 経常費用	
実施事業 (事業費)	20,108,000
健康保持増進事業	1,757,000
高齢者相互支援推進啓発事業	8,543,000
リーダ養成事業	6,193,000
育成指導普及事業	2,255,000
九州ブロック事業	1,360,000

科 目	予 算 額
法人会計 (管理費)	
法人運営等	2,757,000
経常費用計	22,865,000
当期経常増減額	△1,721,000
2 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	0
(2) 経常外費用	0
当期経常外増減額	0
他会計振替額 (他会計繰入、他会計繰出)	0
当期一般正味財産増減額	△1,721,000
一般正味財産期首残高	19,560,000
一般正味財産期末残高	17,839,000
II 指定正味財産増減の部	
受取負担金 (九州ブロック積立金)	223,000
当期指定正味財産増減額	223,000
指定正味財産期首残高	226,000
指定正味財産期末残高	449,000
III 正味財産期末残高	18,288,000

## 「平成30年7月豪雨災害」の募金実績について

### 老人クラブ関係募金額

市町老連名	募金総額 (円)	市町老連名	募金総額 (円)	市町老連名	募金総額 (円)
佐賀市	680,342	小城市	124,000	大町町	5,629
唐津市	671,395	神崎市※	30,000	江北町	138,900
鳥栖市	260,041	吉野ヶ里町※	10,000	白石町	161,800
多久市	76,434	上峰町	38,200	太良町	44,823
伊万里市	25,000	みやき町	619,844	合計	1,598,330
鹿島市	100,000	玄海町	51,300		

※神崎市、吉野ヶ里町は単位クラブではなく老連として募金

※主な寄託先：市町村社協、日赤、善意銀行等

・老人クラブ関係募金額 全 国：1億6,166万3,100円  
佐賀県：1,598,330円

「平成30年7月豪雨災害」の募金につきまして多くの皆様からご協力いただきました。皆様の温かい気持ちに深く感謝申し上げます。

# 平成30年度 在宅福祉を支える友愛活動セミナー

鹿島市老連事務局長 松尾みよ子

我が国がめざしている「地域共生社会」の実現に向けた取り組みで市町村老連へ参加を呼びかけ「新地域支援事業」や住民による「地域支え合い」の理解を深めるため昨年の友愛活動交流集会に続き、今回、東京都での1月30日・31日に友愛活動セミナーが開催され、参加させていただきました。

この事業は、老人クラブがめざす友愛活動を通じて地域支え合いにどのように参画していくかという研究・協議でした。

リーダーの交流の場、高齢者の現状、国・全国の老人クラブの取り組みを知る動向、友愛活動の実践について考える場を設けてもらいました。

今回3地区の事例発表（多様な生活支援）（多様な集いの場づくり）（見守り支援）の取り組みから成り立ち、活動までの声・課題と発表を聞き、2日目の分散会では、間近で生の声を聴くことが出来、ここまでの苦労と成果の状況がよく聞き取れました。

2日間のセミナーを終えて気づいたことは、地元の老人クラブで行っている年1回の老人大会・月1回各地区の老人会・グラウンドゴルフ・健康ウォーキング・料理教室等も支援・通いの場・情報伝達の友愛活動の一環だということでした。それが友愛活動だと気付いたことがこのセミナーの習得だと思います。

このセミナーの重要性を認識し、全体的に従来の活動を点検・検証し、活動の充実に向け、我が老人クラブもこのような活動にこれからも取り組まないとならないのではと強く感じました。

ひとりひとり住み慣れた地域で安心して暮らしていくには、わが老人クラブも行政や協議体とつながりを持ち、一人の100歩でなく、2,480人会員全員で一歩ずつ進んでいこうと思います。

## 全国老人クラブ連合会

2019.1.30 第24回「在宅福祉を支える友愛活動セミナー」開催（1月30、31日）  
市区町村老連で友愛活動の実践に取り組むリーダーを対象に友愛活動セミナーが開催されました。1日目は、厚労省による行政説明、全老連基調報告に続いて事例発表を行い、多様な生活支援、多様な集いの場、見守り支援の取り組みについて報告が行われました。

2日目は、小グループでの情報交換会と講演を行いました。講師は、東京ボランティア市民・活動センター所長で、神奈川県立保健福祉大学校顧問である山崎美貴子氏。参加者は110人でした。

# 養成講座開催

高齢者訪問支援活動推進員養成講座は、県老連と佐賀県在宅サポートセンターとの共催で毎年開催しています。

今年度は5回の講座を実施し、239名の会員（ボランティアヘルパー）が講座に参加していただきました。

平成30年度の講座の内容は次のとおりでした。

1. 開 会
2. 在宅サポートセンター紹介  
(センター施設、展示室、バリアフリー住宅の見学、介護技術等)  
(昼食、休憩)
3. くらしの出前講座「悪質商法の手口とその対処方法」  
講師～消費生活相談員の会さが事務局長 原 まさ代氏
4. 友愛活動に役立つ講座「薬の上手な使い方」  
講師～株式会社ミズ 益田 みさ子氏
5. 閉 会

午前にはバリアフリー住宅の見学、介護技術の実践等を体験していただき、午後の「悪質商法の手口とその対処方法」の講義では、被害が多い高齢者の事例を伝えられ、参加者のみなさんは高い関心を示され、地域のみなさんにもぜひ知ってもらいたいとの事で、後日多数の出前講座の申し込みがあり、「各地区において、講座を実施しました。」と、原まさ代事務局長から報告がありました。

また「薬の上手な使い方」においても興味深く講義を聞かれ、「服薬、シップ、点眼薬」などの使用方法を改めて知ることが出来た、との感想をもらいました。

老人クラブ会員の皆様、「お薬手帳」は必需品です。通院時には必ず「お薬手帳」を持参し、薬局では薬剤師に提出し、助言を仰ぐようにしましょう。







平成30年10月17日(水) 鹿島市民交流プラザに於いて、「第五回佐賀県老人クラブ囲碁大会」(佐賀県老人クラブ連合会主催、碁聖寛蓮顕彰会協賛)が開催されました。

木下治紀県老連会長の開会挨拶、藤永勝之碁聖寛蓮顕彰会長の歓迎の挨拶、高松昭三大会審判長の試合上の注意の後、午前10時から試合が開始されました。

選手総勢70名の方々は、市町老連の名誉にかけて、真剣に碁を打たれ、会場内は熱気にあふれ、応援にも熱が入っていました。各チーム四回戦を戦い、その結果、唯一、四戦全勝の好成績を収められた佐賀市チームの優勝となりました。準優勝はみやき町チーム、三位は鹿島市Cチームの順でした。準優勝のみやき町チーム、三位の鹿島市Cチーム、四位の白石町チームは、いずれも3勝1敗でしたが、副将の勝ち数、大将の勝ち数の差で

順位決定しました。

来年度(平成31年)は、同会場にて11月20日(水)に開催予定です。多くの市町老連の参加をお待ちしております。

最後になりましたが、会場の設営から大会運営まで協力いただいた「碁聖寛蓮顕彰会」の皆様、誠にありがとうございました。



優勝された佐賀市チームの皆様

# 第15回 佐賀県老人クラブグラウンド・ゴルフ大会

平成30年10月24日(水)、第15回佐賀県老人クラブ、グラウンド・ゴルフ大会が佐賀市民運動広場において開催されました。

木下治紀佐賀県老連会長の挨拶、太良町老連、高柳秀四郎選手の力強い選手宣誓で始まり、329人の選手の皆様が、秋晴れの下、楽しく、元気に最後まで大会を盛り上げていただきました。

各パートの10位までの表彰者は下記のとおりです。おめでとうございます。

緑パートの優勝者、西光子さんは合計打数27、と圧倒的な強さで優勝されました。

(今大会での30打を下回った方は西さんのみ)

各パートの上位10名には賞状と賞品が贈られ、盛会のうちに閉会となりました。

平成31年度は10月29日(火)に大会を実施いたします。選手の皆様、係りの皆様、来年も大会が盛り上がるように、ご協力をお願いします。



## 各パートごとの優勝者及び10位までの成績

### 黄パート

優勝	山下	明
準優勝	最所	正徳
3位	田中	猛
4位	西	立身
5位	池田	智幸
6位	富永	宏史
7位	深川	博吉
8位	大寶	孝一
9位	石井	竹夫
10位	原	利之

### 緑パート

優勝	西	光子
準優勝	三浦	秀夫
3位	勝田	開治
4位	坂井	清介
5位	居石	明
6位	永渕	時夫
7位	古賀	勝邦
8位	小松	ツヤ子
9位	森園	海征
10位	北村	久子

### 赤パート

優勝	溝上	貞男
準優勝	中村	進
3位	馬場	節代
4位	溝上	昭一
5位	古川	征次
6位	古賀	弘子
7位	武田	孝
8位	篠原	広治
9位	寺崎	貞男
10位	愛甲	博光

# 9月20日は全国一斉『社会奉仕の日』

社会奉仕の日を中心に県内の各クラブにおいても、地域の美化活動に取り組み914クラブ・29,663名が地域への奉仕活動に参加されました。皆さんお疲れ様でした。



鳥栖市本鳥栖町水影寿会

9月23日、奉仕活動に23名の参加があり、2グループに分かれ花壇「寿フラワー園」の除草、草木の剪定、水影神社の広場の清掃を実施しました。この活動も年間行事として定着し活動後の懇談も楽しいひと時となっております。

水影天満宮の説明～大宰府の長官として九州に下向した菅原道真は903年その地で没しますが、道真公の5子長寿丸と養子縁組をしていた三澄時遠がその死を悼み水に影を写し描いた天神自画像を奉祀したのが水影天満宮の始まりと言われていいます。



小城市本町老人クラブ長寿会

本町老人クラブ長寿会では、毎月15日、岡山神社境内清掃の活動に努めております。

この清掃活動は、クラブが発足した当時から実施されています。ここ数年会員の平均年齢も85歳を超えて参加者も減少しておりますが、無理をせずに清掃活動のできる人の参加を呼びかけ、清掃の楽しさ、お互いの情報の語らいの場として今後も継続していきたいと思ひます。

また去年は、公民館の障子紙、網戸の張替え、植木の剪定作業を実施して区長から感謝の言葉をいただきました。

多久市納所老人クラブ



## 参加クラブ数及び人員

市町老連名	クラブ数	人員	市町老連名	クラブ数	人員	市町老連名	クラブ数	人員
佐賀市	299	9,504	小城市	20	306	玄海町	15	410
唐津市	49	1,253	嬉野市	52	1,182	有田町	40	996
鳥栖市	37	707	神埼市	70	1,500	大町町	22	774
多久市	8	378	吉野ヶ里町	21	430	江北町	31	4,848
伊万里市	29	1,581	基山町	4	338	白石町	59	1,780
武雄市	70	2,017	上峰町	16	263	太良町	10	128
鹿島市	25	438	みやき町	37	830	合計	914	29,663

## 上峰町老人クラブ

### 各老人クラブで「きずなサロン」を実施

町内25老人クラブでは、きずなサロンを連合会の出前講座として各地区の公民館で実施しています。



まず、手始めに体を軽くほぐすために3B体操から始めて、次に地域包括支援センターから介護や認知症などについての講話で、クラブ員のみならず地域の高齢者等の見守り等の活動への取り組みを確認しあい、最後に鳥栖警察署坊所駐在所から、交通安全と特殊詐欺についての講話で、安全・安心への取り組みを確認し合っています。きずなサロン

終了後は、談話や食事などで楽しいひと時を過ごしています。

《3B体操》とは ボール・ベル（クッション）・ベルトを使用する健康体操です。

## 南多久老人クラブ

### 親子しめなわ作り

毎年年末に多久市立東原座舎中央校において、老人クラブが中心となり、児童生徒の皆さん、保護者が参加して正月に各家に飾る「しめなわ」作りを行っています。しめなわに使う稲わらは、老人会で準備し、基を結ぶヒモ・わらをたたく横槌、しめる時に使うつるし台などを用意し作業にかかります。



一つのしめなわを巻く作業が大変で昔作っていた経験者が保護者と子供達を指導しながら巻いていきます。

巻き終わったらハサミでひげ切りをします。こうして出来上がったら子供達（4年生）の司会のもと感想交流を行います。こうして出来上がった「しめなわ」は各家庭に持ち帰り、飾りを付けて玄関に備えることとなります。

子供達にとっては初めての作業であり大変みたくですが、老人クラブの皆さん、保護者と一緒に工夫しながら「しめなわ」が出来上がるのは楽しいみたいです。自分が作った「しめなわ」が玄関に飾られるのを見るのは、大変うれしいと言っています。

## 松浦町老人クラブ

会長 松尾金四郎

### 世代間交流「三事業」について

平成30年12月16日、老人会役員と中学2年生・小学5年生を交えて「しめ縄づくり」

を実施しました。役員の皆様には、わら、飾り付けなどの準備をしていただき感謝しております。参加者のみなさんは慣れない手つきで頑張っていたが、完成品を眺めて笑顔でしめ縄を持ち帰られ、玄関にしめ縄を飾り、正月を迎えることが出来ました。

12月20日は松浦保育園児との交流でお楽しみ会を実施しました。遊戯室での園児の踊り等に感動し、老人会副会長がサンタ役をして盛り上がりました。終了後は園児と各テーブルに分かれて昼食をごちそうになりました。

平成31年1月30日は松浦小1年生と昔遊びで、お手玉、けん玉などを一緒に楽しみ交流を深めることが出来ました。

今後も青少年との交流事業が定着していくように努めてまいります。



## 有田町老人クラブ

### 昔遊び交流会

有田町老人クラブは、地元大山小学校の一年生と昔遊びを行いました。

これは毎年行っているもので、今年是一年生四十六名と老人クラブ三十名が参加して行われました。

種目は「たこあげ・こま・竹とんぼ・かるた・けん玉・あやとり・おはじき・お手玉」の八種目を行いました。

この中でほとんどの子供がどの種目も悪戦苦闘の連続でした。老人クラブの会員も子供時代に帰って、楽しく教えることが出来ました。特にこま廻しでは、ほとんどの子供が廻せません。廻せるまでかなりの時間がかかりました。おはじきの遊び方もわからず、丁寧に会員が教えて、子供達も慣れてくれば楽しそうに遊んでくれま



した。お手玉はちょっと難しいしぐさで、一個から二個に増やすことはなかなか移行できませんでした。かるたは一年生が作った大きいかるたで楽しく遊ぶことが出来ました。竹とんぼはこどもたちの腕力が少ないために高く飛ばません。でも少しでも飛ばば喜んでくれました。

六つのゾーンを設けて、一定の時間ごとに回り、約二時間遊びました。

子供達もゾーンをすべて終わったときは、自分の好きな種目をもっとしたいと漏らしていましたので、お正月休み等は家族の方と昔遊びをやってくれと思います。

子供も、老人クラブ会員も楽しく過ごすことができ、昔遊びの文化の継承になったと喜んでいきます。

在宅を支える友愛活動を広げよう  
鹿島市老人クラブ連合会

(友愛活動部)

会長 高松昭三 ・ 副会長 馬場喜彦

担当理事 中島邦保

友愛活動 委員	鹿島	能古見	古枝	浜	北鹿島	七浦
	男 樋口重治	中村允彦	三原碩三郎	中島康夫	下川 勝	山田次郎
	女 幸田藤代	赤川敏子	中山千江子	中島スミエ	向井 貞子	石橋玲子
地区	12地区	9地区	5地区	5地区	9地区	7地区

高齢者(自分たち)を地域で支えるしくみづくり

自分たちでできること選び

1. 手の届かないところへの支援手伝い
2. 1人住まい・家に居られる方へ戸別訪問
3. 誰でも寄れる寄り合い場所づくり

※平成31年度から活動を広める活動をしましょう

三十一年の 計画	・各地区で勉強会・説明会・協議.
	・一人暮らしの調査
	・訪問(可・否)の調査
	・5年計画を作成

第1回 友愛活動委員発起会 4月9日(火) 10:00~

互の幸を計りたい。

住み慣れた所で、生涯を全うすることをスローガンに、老人クラブ会員相互の幸を計りたい。

昨年12月、全国老人クラブ沖縄大会に於いて、次年度全国老人クラブ目標を「友愛活動」と定められたのを機に、わが鹿島市老人クラブ連合会も遅ればせながら、4月1日付けで、鹿島市老人クラブ連合会「友愛活動部」を立ち上げて6地区各代表者2名を選出し、支援を必要とする老人クラブ会員を選び出して、部活動会で各種対策を協議することとしました。

平成26年、我が国は「新地域支援事業」を発令、各県は市町村へ、市町村は社協へと廻って社協は、民生委員等へと順送りの様を挺して我が老人クラブも、そのグループ活動の一員としての参加となっていました。

移行してまいりましたが、それなりの功罪も伴い、年金問題は、受取年齢60歳を70歳から更には75歳から開始すれば受取額を倍払いという政府案や社会保障額が、国家総予算の30パーセントを越す金額とは、如何に超老年化とは申せ、五体健全者の老人が少なく、医療費が倍増している証拠かと存じます。

## 鹿島市老連

### 平成31年度 友愛活動部の新設

世は正に、超高齢者社会の時代となりました。人生僅か50年時代から70年が経過して、今や人生100歳の時代へと

### 3つの会員増強運動

1. 「勧誘から始めよう！」 - 会員一人ひとりが勧誘の担い手です -
2. 「クラブでPRしよう！」 - 知られていますか、あなたのクラブ -
3. 「クラブをつくろう！」 - すべての地域にクラブの設置を -



# 老人クラブ 3つの保険 〈掛金・補償内容〉

## 傷害保険

自分がケガをした時の保険です。病気および他人に与えたケガは対象外です。

- ① 対象：老人クラブ会員に限ります。年齢制限はなく、いつでも加入できます。(1人1口加入)  
ただし、加入手続きは所属老人クラブの保険担当者が取りまとめる団体傷害保険です。
- ② 保険期間：掛金払込日の翌月1日から1年間
- ③ 補償範囲・掛金タイプ  
「24時間型(掛金3タイプ)」と「活動型(掛金3タイプ)」の6タイプから選択してください。

### 1 24時間型

〈クラブ活動中(往復途上<sup>(注3)</sup>を含む)・クラブ活動中以外を問わず〉  
日常生活全般(24時間)のケガを補償します。

☛ クラブ活動中のケガの場合は、(白地) + (薄いグレー) の合計(黒色)の保険金額が支払われます。  
☛ クラブ活動中以外のケガの場合は、(薄いグレー) のみの保険金額が支払われます。

年間掛金	10,000円		5,000円		3,500円	
ケガをした時の状況	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合
死亡保険金	170万円 217万円 <b>387万円</b>	—	85万円 109万円 <b>194万円</b>	—	45万円 91万円 <b>136万円</b>	—
(注1) 後遺障害保険金	170万円 <b>170万円</b>	—	85万円 <b>85万円</b>	—	45万円 <b>45万円</b>	—
(注2) 入院保険金日額 (1事故につき30日限度)	4,000円 2,280円 <b>6,280円</b>	—	2,000円 1,140円 <b>3,140円</b>	—	1,000円 950円 <b>1,950円</b>	—
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	2,600円 1,700円 <b>4,300円</b>	—	1,300円 850円 <b>2,150円</b>	—	650円 600円 <b>1,250円</b>	—

※「24時間型」の職種級別Aは無職・事務職(傷害リスクの低い職業)等です。B(傷害リスクの高い職業)については、下記をご参照ください。

**ご注意**

- 職種級別Bに該当するおもな職種
  - ・「自動車運転者」、「建設作業者」、「農林業作業者」、「漁業作業者」、「採鉱・採石作業者」、「木・竹・草・つる製品製造作業者」(以上、6職種)
  - ・上記に該当する方は、保険金額が変更になります。
  - ・詳しくは取扱代理店もしくは引受保険会社にお問い合わせください。

### 2 活動型

〈クラブ活動中(往復途上<sup>(注3)</sup>を含む)〉  
のケガを補償します。

☛ クラブ活動中のケガの場合は、下表の保険金額が支払われます。  
☛ クラブ活動中以外のケガの場合は補償されません。

年間掛金	2,000円	1,000円	500円
ケガをした時の状況	活動中のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中のケガの場合
死亡保険金	170万円	85万円	45万円
(注1) 後遺障害保険金	170万円	85万円	45万円
(注2) 入院保険金日額 (1事故につき30日限度)	4,000円	2,000円	1,000円
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	2,600円	1,300円	650円

**ご注意**

- ・クラブ活動とは、各クラブで予め企画、実行したものを指します。
- ・「活動型」に職種級別はありません。

※注1 後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。(後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡・後遺障害保険金額の4%~100%が支払われます。)  
※注2 手術保険金のお支払額は、入院中以外(外来)は、入院保険金日額の5倍または入院中は、10倍となります。  
※注3 往復途上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む)を出てから、活動場所までの通常経路を指します。

## 3 賠償責任保険

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険。自分のケガは対象になりません。

- ① 対象：老人クラブ(全員加入が条件となります)
- ② 保険期間：毎年10月から1年間
- ③ 掛金：1人年額100円(最低引受保険料3,000円)
- ④ 補償：支払限度額1億円

公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係

TEL.03-3597-8770 FAX.03-3597-8767

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 ミクビル1階102号  
〈取扱代理店〉 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768  
〈引受幹事保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社

※この広告は、以下の商品についてご紹介したものです。  
「老人クラブ傷害保険」  
■活動型：老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険、  
■24時間型：総合生活保険(傷害補償)  
「老人クラブ活動専用賠償責任保険(施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険)」  
ご加入にあたっては、必ず「老人クラブ3つの保険ご案内パンフレット」「概要」「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点がある場合には、代理店までお問い合わせください。

18-T02023 平成30年6月作成

## 平成31年度 佐賀県老人クラブ指定旅館契約一覧

佐賀県	旅館初音荘 (嬉野市)	尾ノ上 Ryokan (呼子町)	ひぜん祐徳温泉 (鹿島市)
	伊万里温泉 (伊万里市)	吉野ヶ里温泉 (上峰町)	大町温泉 (大町町)
	お魚処玄海(玄海活魚株) (呼子町)		
福岡県	桑之屋 (うきは市)	つるき荘 (うきは市)	甘木館 (朝倉市)
	原鶴グランドスカイホテル (朝倉市)	かんぼの宿柳川 (柳川市)	虹の宿ホテル花景色 (うきは市)
長崎県	雲仙いわき旅館 (雲仙市)	長崎ブルースカイホテル (長崎市)	サムソンホテル (平戸市)
	Alega 軍艦島 (長崎市)	雲仙みかどホテル (島原市)	ホテル南風楼 (島原市)
	東洋九十九ベイホテル (島原市)		
熊本県	荒木観光ホテル (熊本市)	旅館金時 (阿蘇市)	つかさの湯 (玉名市)
	人吉民芸の村、かくれ里の湯 (人吉市)	玉名ファミリー温泉 (玉名市)	
大分県	天龍荘 (日田市)		

### 会員章を胸に活動の輪を広げて

老人クラブ会員章は、会員一人ひとりの意欲とクラブの誇りを示すシンボル。

そして仲間、連携のしるしです。

あなたも会員章を胸に、地域の担い手としていきいきと輝きながら、クラブ活動を広げていきましょう。

**会員章 1個 1,000円**

県老連事務局で取り扱っています

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

